

第 199 回 史跡散策の会

「宇治十帖」ゆかりの地を訪ねる

催行日：令和 6 年 11 月 13 日

行 程：京阪「宇治駅」～～ 宇治橋を中心とした宇治川の兩岸に宇治十帖の古跡～～

宇治駅＝（宇治線）＝中書島＝（京阪本線）＝伏見桃山

参加者：（敬称略）加納 岩井 松村 木村 高 水野 横山 国沢 以上 8 名

天 候：秋晴れ

－NHK大河ドラマ「光る君へ」の主人公“紫式部”が晩年宇治を舞台に執筆したと伝わる
「宇治十帖」物語ゆかりの古跡 10 箇所全てを訪ねる－

宇治川先陣ノ碑



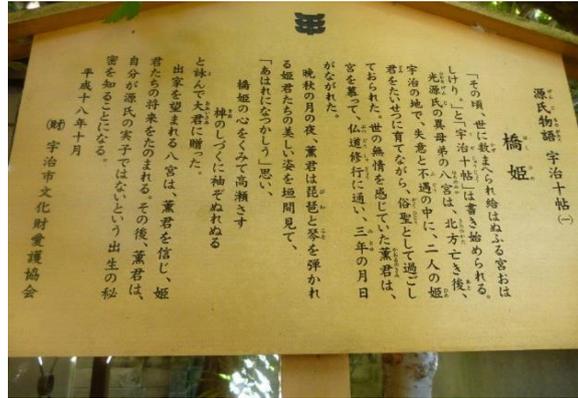
朝霧橋を背景に「宇治十帖」石像前にて
宇治十帖とは：源氏物語の最後の十帖は宇治を舞台にしての物語であり光源氏の没後、その息子や孫が主な登場人物となっており 複雑な生い立ちの主人公薫の君の悲恋や、ヒロインの一人である“浮舟”が三角関係に悩み入水自殺したが助けられ尼さんとして余生を送る話らしい。（詳しくは知らんけど）



歴史は下り 1184 年 木曾義仲 v s 義経軍
義経軍の梶原君と佐々木君が先陣を競って
宇治川を渡った場所どちらが敵陣へ一番乗りしたか？



「早蕨（さわらび）」宇治十帖（四）碑前にて



「橋姫」宇治十帖（一）の説明看板 200文字/一帖



「三室戸寺」石段登って境内へ



境内横にヒロイン「浮舟」の碑 宇治十帖（七）

歴史は下り 1184年 木曾義仲 v s 義経軍 義経軍の梶原君と佐々木君が先陣を競って宇治川を渡った場所
どちらが敵陣へ一番乗りしたか？



- ・最終編「夢の浮橋」宇治十帖（十）碑前で。
- ・ゆかりの古跡が 後世 好事家（こうずか）たちにより定められたそうナ
- ・応神天皇の皇子墓 菟道稚郎子（うじのわきいらつこ）
- ・陵でなく墓なのは次男である為、長男は仁徳天皇

世界遺産「平等院」

水面に写る空や雲 浮かぶようで見事なアングル・・・！



—宇治は当時の貴族たちに別荘地として愛され、王朝絵巻をそのまま風景に

した景色が存在し 春夏秋冬見どころいっぱいの地だと感じた次第—



伏見桃山駅近隣の「居酒屋」にて本日の打ち上げ。

この至福の一時 ビールが旨い！

(この店は 以前社友会旅行黄檗山萬福寺で普茶料理を味わった後に寄った居酒屋)

本日の歩行約 17,000 歩也

ガイド：高さん、写真：岩井さん、レポート国沢さん